

● 展示作品および資料リスト

- 《世話になるすべてに禮をいうころ》色紙に墨書 個人蔵
《実意をこめてすべてをたいせつに》色紙に墨書 個人蔵
《実意丁寧神信心》紙本墨書 本館蔵
《信心の稽古》紙本墨書 本館蔵
《生涯のなかのかけがへなき今日なり今日そのままがわれの生涯…》紙本墨書 個人蔵
《世話になるすべてに禮をいふころねがはせ給ひ教へたまへり》紙本墨書 個人蔵
《七月の二日百日信行の第一日の目ざめ賜はる…》紙本墨書 個人蔵
《父がよりし机の前に今日も来て坐ること得しわがいのちなり》紙本墨書 本館蔵
《すべて世話になりつづけて今日をある老いわが今のいのちなりけり》紙本墨書 本館蔵
《生神金光大神取次道》紙本墨書 個人蔵
- ・ありし日のお姿の写真

● 同時開催の展示

【常設展】

- 「資料とともにたどる金光大神のご生涯」
- 「令和7年度物故布教功労者御遺影展」
- 「教祖様に関わる所蔵資料」

【特別陳列】

- 「金光大神直筆 金乃神様金子御さしむけ覚帳 御金神様御さしむけ金銭出入帳」



金光図書館

〒719-0111 岡山県浅口市金光町大谷 320
TEL: 0865-42-2054 FAX: 0865-42-3134
E-mail: konkō-library@konkokyo.or.jp

金光図書館 令和8年度 春期企画展覧会

四代金光様 金光鑑太郎君 35年 その人と作品

会期：令和8年3月28日[土]～8月30日[日]

会場：本部総合庁舎1階 展示室

本年は四代金光様金光鑑太郎君がご帰幽になり 35年のお年柄になります。金光図書館ではその節年に合わせて展覧会「四代金光様 金光鑑太郎君 35年 その人と作品」を開催します。

金光鑑太郎君は、明治42年、三代金光様金光攝胤君、キクヨ姫のご長男としてお生まれになりました。金光中学校卒業の後、御父君の願いのままに教義講究所での修行を終えられると、常に御父君のお側近くでそのご用を助けられ、本部教会副教会長、金光図書館長、内掌部長などを歴任されました。昭和38年7月、三代金光様のみ跡を受け継ぎ教主になられると、6期28年におよぶ長い年月、教団の統理と教統の保全という重責を担われ、ひたすらご神勤くださいました。一方、戦後日本の文化振興や復興という願いのもと金光図書館創立に尽力されるとともに、ご自身も書や和歌を嗜み、その生涯に4万首以上ものお歌を詠まれ、歌集『土』を刊行するなど文化人としての一面もよく知られています。



本展では、春・秋の2期に分けて金光鑑太郎君の“人と作品”を紹介します。春期展示では“信仰者として”、秋期展示では“文化人として”というテーマのもと、本館所蔵作品を中心に個人蔵の資料も加えて展観するものです。

この度の春期展では、四代金光様のみ教えとしてよく知られる「世話になるすべてに礼をいうころ」「実意をこめてすべてをたいせつに」をはじめとしたご自身の信仰の姿勢が現された書跡や、ありし日の御用の様子を記録した写真などを展示します。本展は35年というお年柄に改めて金光鑑太郎君のみ蹟に思いをはせることで、それぞれの信心生活の歩みをここからいっそう進めることができる一助になるようにという願いを込めて開催するものです。



図版上・下「平成2年4月26日 81歳の誕生日に」

